

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.2**

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第65号

金沢大学サテライト・プラザが新装オープン

TOPNEWS



看板を上掲する林学長(左)と山出金沢市長
=金沢市西町教育研修館前で

1月12日、金沢市西町教育研修館が開館し、金沢大学サテライト・プラザが新装オープンした。開館式に先立ち、林勇二郎学長と山出保金沢市長によって看板が掛けられ、続いて、テープカットが行われた。

開館式では、山出金沢市長が「ここを、市民と大学が交流する拠点としたい」と式辞を述べた。林学長は祝辞の中で「大学の教育や研究が地域にしっかり根ざすよう活動していきたい」と語った。(6頁に関連記事)



テープカット 左から 林学長、
苗代明彦金沢市議会文教常任委員会委員長、
川紘一金沢市議会議長、山出金沢市長、
津川龍三金沢市教育委員会委員長、
高田浩平中学校サイエンス・クラブ代表(紫錦台中学校3年生)、
石原多賀子金沢市教育委員会教育長

医学部附属病院 対面盛り付けサービスを開始

医学部附属病院栄養管理室では、平成13年10月1日から、新たな患者サービスの一つとして、各階テイルームで食事の対面盛り付けサービスを開始した。食事を作る側と患者側との心のふれあいを重視して始められたもので、患者からは「心のこもった食事に感謝します」などの声が寄せられている。



好評を得ている対面盛り付けサービス
=1月25日、医学部附属病院テイルームで

巻頭言

二つの日本人論の狭間で



教養教育機構長

田中 一郎

(工学部教授)

国立大学の改革が声高に叫ばれているが、ややもすると自然系の学問のみが大学の将来を担うかのような論調があるのは気がかりなところである。「ものづくり」というスローガンもまた、その当否はともかく、そうした傾向を助長しているかもしれない。

このことに関して、明治維新前後に来日したアメリカ人とドイツ人のふたりの日本人評を思い起こしておくのも無駄ではないだろう。ほとんど同時代にやってきた外国人が相異なる評価をしているのは興味深いし、示唆的でもある。ひとり、あの黒船でやってきたペリーで、『日本遠征記』の中で次のように書いている。「日本の手工業者は世界に於ける如何なる手工業者にも劣らず練達であって日本人が一度文明世界の過去及び現在の技能を所有したならば、強力な競争者として、将来の機械工業の成功を目指す競争に加はるだらう」。これに対して、明治9年に東京大学のお雇い外国人教師として来日したベルツのほうは辛辣に日本人を見ていた。『ベルツの日記』ではこう語られている。「西洋

の科学の起源と本質に関して日本では、しばしば間違った見解が行われているように思われるのであります。日本では今の科学の「成果」のみをかれらから受け取ろうとしたのであります。この最新の成果をかれらから引き継ぐだけで満足し、この成果をもたらした精神を学ぼうとはしないのです。

どちらが正しかったかということではない。軍人であったペリーは、「人民の発明力をもつと自由に発達させる」ならばという条件の下で日本人の好奇心と勤勉さの中に将来のライバルを見たのであり、教育者であったベルツは、西洋の歴史の中で培われてきた学問の背景となる精神を身につけなければ日本人の手で科学を産み出すことはできないと指摘していたのである。これらの日本人評はどちらも、今なお有効だと言えるだろう。科学・技術を育んだ土壌とそれを取り巻く状況に無関心のまま研究を進めることはできないし、どの学問分野を専攻するにせよ科学・技術に背を向けることも不可能である。

日本人についての二つの評価を今後に生かすとすれば、なすべきことは総合大学としてのバランスのとれた発展だろうし、そこでの豊富な人材を活用した教養教育の充実なのだと考えるのは、牽強付会というものだろうか。

目次

金沢大学サテライト・プラザが新装オープン……………	1	附属養護学校 新体育館でのびのび体育……………	7
医学部附属病院対面盛り付けサービスを開始……………	1	留学生が田上小学校を訪問……………	8
巻頭言「二つの日本人論の狭間で」		医学部附属病院 院内接遇研修を実施……………	8
教養教育機構長 田中一郎……………	2	事務総合研修を実施……………	9
平成14年仕事はじめ学長があいさつ……………	3	定年退職者説明会を実施……………	9
先行独立行政法人等調査報告会を開催……………	3	平成14年成人祝賀式が挙行される……………	10
janzs合同セミナーを開催……………	4	発行……………	10
外国語教育研究センター研究会		公開講座「新 世界経済と日本経済」が開講……………	11
「金沢大学での授業を振り返って」……………	4	留学生、冬の鴨、白鳥等をバードウォッチング……………	11
大学入試センター試験が実施される……………	5	雪の里山ハイキング……………	12
社会教育主事講習在り方検討会を実施……………	5	キャンパス点描……………	12
リニューアル「金沢大学サテライト・プラザ」……………	6	編集後記……………	12
附属病院 産科病棟での新サービスと院内学級……………	7		

ニュースの杜

平成14年仕事はじめ 学長があいさつ

1月4日、事務局大会議室で、平成14年仕事はじめの学長あいさつがあり、各学部長や事務職員などが出席した。

林学長は、「今年はTOP30対策や国立大学の独立行政法人化を控え、試練の年となります。研究大学としての基盤を強化する1年となるよう、教官と職員が一体となって整備にあたって欲しい」と述べた。



あいさつする林学長
＝事務局大会議室で

先行独立行政法人等調査報告会を開催

1月22日、事務局大会議室で、先行独立行政法人及び私学の管理運営実情調査並びにIDE高等教育フォーラム報告会が、事務局職員を対象に大学改革推進室事務室の主催で開催され、約80名が出席した。



報告会は加藤勲事務室長の司会により進められ、西谷公作室長補佐、山本清隆独立行政法人化担当事務室員、辻弘之総務課課長補佐がそれぞれ報告した。

左上の写真
報告する辻総務課課長補佐
(左)と西谷大学改革推進室
事務室室長補佐
＝事務局大会議室で

ニュースの杜

janzs合同セミナーを開催

1月24、25日、共同研究センターで、「janzs合同セミナー」が開催され、日本、オーストラリア、ニュージーランドのほか、中国、インド、チェコからも研究者が集った。

この合同セミナーは、電気及び機械システムにおける電磁現象の応用に関する研究活動の交流を通して、工学領域での研究補間と協力発展を目的として開催された。



あいさつする林学長。
右は山田外史工学部教授
＝1月24日、共同研究センターで

外国語教育研究センター研究会「金沢大学での授業を振り返って」



1月29日、外国語教育研究センターの第4回研究会が、同センター共同研究室で開かれた。

今回は、この3月に本学を去るジュディ・ケンダル外国人教師が「金沢大学での授業を振り返って」と題し、英語Bクラスの教育実践について報告した。

発表するジュディ・ケンダル
外国人教師
＝外国語教育研究センター
共同研究室で

ニュースの杜

大学入試センター試験が実施される

1月19日、20日、平成14年度大学入学者選抜大学入試センター試験が実施された。当日は晴天にも恵まれた。

石川県地区では本学を含めて6大学12会場で試験が行われ、初日の英語では、角間、小立野、宝町の各キャンパスで計3,807名が受験した。これは県内受験者の約7割にあたる。



大学入試センター試験に臨む受験者
=1月19日、文・法・経済学部試験場第一試験室（A101講義室）で

社会教育主事講習 在り方検討会を実施

1月25日、大学教育開放センターで、不和彦東北大学大学院教授、篠原弘章熊本大学教授、古市勝也九州女子大学教授らを講師に招き、社会教育主事講習在り方検討会が開かれ、本学における今後の社会教育主事講習会運営の在り方について活発に意見交換が行われた。



=大学教育開放センター長室で

新サテライト・プラ

リニューアル「金沢大学サテライト・プラザ」



左から 中西孝大学教育開放センター長, 林学長, 水上修一事務局長

本学留学生による記念茶会も開かれた
＝旧園邸（金沢市指定文化財）で

1階大学インフォメーションセンター



2階金沢大学サテライト・プラザ

1月12日、「金沢大学サテライト・プラザ」が金沢市西町教育研修館に新装オープンした。（1頁に本記）

1階には「大学インフォメーションセンター」があり、県内の国公立大学等の資料を自由に閲覧できる。2階には「金沢大学サテライト・プラザ」として、最大50名収容の講義室がある。一般市民を対象にした公開講座等のほか、今後は授業やゼミなどに広く活用することが期待される。平日は19時まで（火曜定休）、土・日曜、祝日も開館し、受験生や市民からの問い合わせや相談にも応じる。

なお、この研修館は、金沢市出身で文化勲章受賞者の建築家・故谷口吉郎博士の設計により昭和27年に完成した由緒ある建物で、今回、建築当時の資料をもとにリニューアルされた。

利用申し込み等についてはHPを参照。

新病棟・新校舎から

附属病院 産科病棟での新サービスと院内学級

医学部附属病院の院内学級では小立野小学校と紫錦台中学校教諭の指導のもと、児童・生徒が学習に励んでいる。



学習に励む小学生クラス
=2月4日、医学部附属病院3階小児科病棟で



産後すぐから同室で過ごす^{おたけい}大家光さんと^{たかはる}天晴君
=2月4日、医学部附属病院5階産科病棟で

また昨年10月の新病棟オープンを機に、産科病棟において、産後すぐから赤ちゃんとお母さんが同室で過ごせるサービスを開始した。

附属養護学校 新体育館でのびのび体育

1月25日、教育学部附属養護学校の小学3年から6年の児童12名は、新体育館でキックベースボールに汗を流した。広々とした同体育館は、昨年完成した。新館の香りがする中、教師と一緒に思い切りボールを蹴った。



昨年完成した附属養護学校の体育館



警備中の守衛さん
=附属養護学校校門前で

トピックス

留学生が田上小学校を訪問



1月24日、本学留学生センターの日本語研修コースで学ぶ教員研修留学生と研究留学生計8名が金沢市立田上小学校を訪問した。国際理解のための授業に参加した後、コンピュータールーム、音楽室、放送室を見学した。また、児童と一緒に給食をとり交流を深めた。

=コンピュータールームで



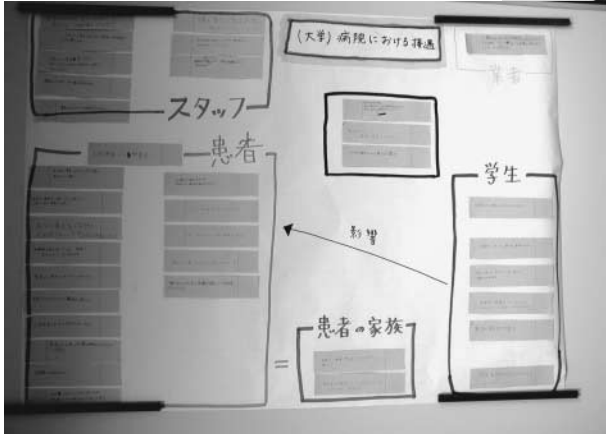
=図工室で



=玄関で

医学部附属病院 院内接遇研修を実施

12月18日、初めてのグループ討議形式による院内接遇研修が西病棟1階共同カンファレンスルームで実施され、24名が参加した。4つのグループに分かれ、「病院における接遇」「接遇の基本、言葉・態度・身だしなみ」「苦情処理」をテーマに議論し、グループ発表の後、全体討議が行われた。



グループ別に討議し、その結果を表にまとめた
=医学部附属病院西病棟1階共同カンファレンスルームで

トピックス

事務総合研修を実施

1月17, 21, 23, 24日の4日間にわたり、「平成13年度金沢大学事務総合研修」が実施された。

1日目に林学長が「金沢大学が目指す大学改革」と題して講演したほか、石原多賀子金沢市教育委員会教育長、花岡美代次副学長、園利男独立行政法人国立青年の家 国立能登青年の家所長による講演が行われた。

17日（1日目）の講師



林学長



石原教育長



花岡副学長



園所長

（2日目以降の講師）

21日 辻弘之総務課課長補佐，山本久美子人事課専門員，平山英明国際交流課長，村田記研究協力課研究助成係長，上口大介企画広報室企画係長，池端良伸人事課職員係長，出口智子人事課職員係員

23日 棚山登志雄主計課長，永吉進主計課課長補佐，石田幸治企画調査課課長補佐，四柳茂男契約室長，太田祥士契約室室長補佐，池端良伸人事課職員係長，千田省志経理課経理給与係長

24日 西出良一学生課専門職員，日向繁厚生課専門員，上川清光共通教育室専門員，濱由樹入試課長，岡田ほなみ留学生課専門員，前田廣志施設部長



聴講する事務職員

定年退職者説明会を実施

1月25日，事務局大会議室において，3月末に定年退職する教職員52名を対象に，退職者説明会が実施された。最初に，久保芳廣総務部長から本学の発展に尽力されたことについて感謝を込めたあいさつが述べられた。

続いて，人事課担当者から，医療制度，退職手当に係る税金及び退職共済年金等について，申請手続き等の説明が行われた。

あいさつする久保総務部長
＝事務局大会議室で

学長室から

平成14年成人祝賀式が挙行される

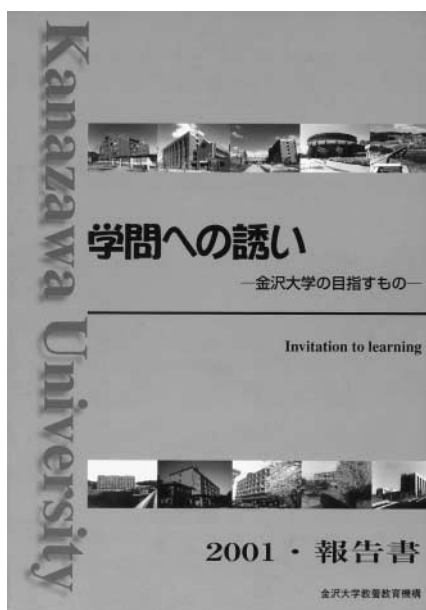
1月11日、平成14年成人祝賀式が挙行された。経理部経理課出納係の森美沙子さんと、理学部極低温研究室の布村晃一さんに林学長から記念品が授与された。



成人を迎え、林学長から記念品を受け取る森美沙子さん
＝学長室で

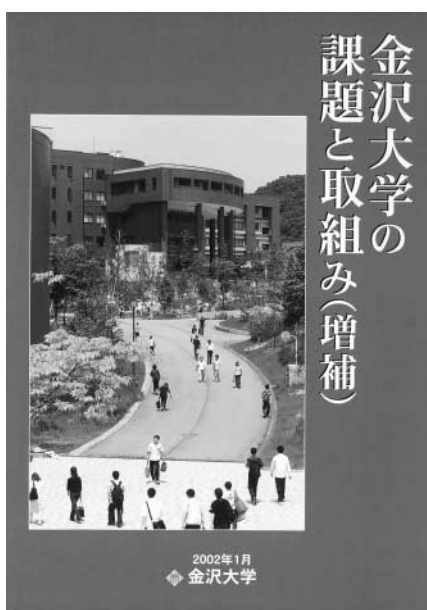
発行

『学問への誘い
—金沢大学の目指すもの—』



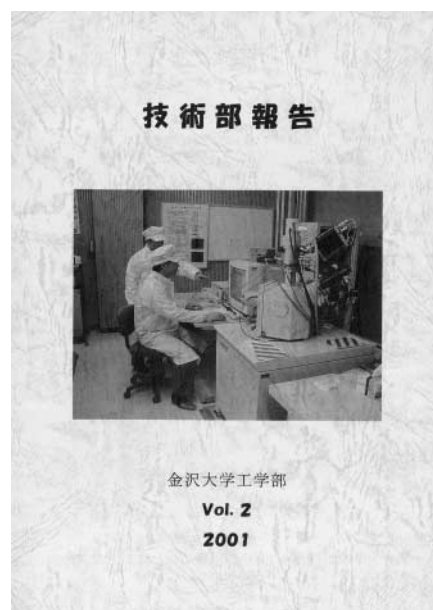
お問い合わせ：学生部共通教育室
学長・副学長・各学部長が教壇に立ち、学生に学問の魅力を説いた講義報告書

『金沢大学の課題と取組み（増補）』



お問い合わせ：総務部企画広報室
『課題と取組み』に「補遺」を加えた報告書

工学部『技術部報告』Vol.2



お問い合わせ：工学部技術部
工学部技術職員の研究成果やこれまでの職務内容についてまとめられた報告書

サテライト・プラザ

公開講座 「新 世界経済と日本経済」が開講



新装オープンしたサテライト・プラザで初の公開講座となる「新 世界経済と日本経済」が1月19日に開講した。全5回の講座の第1回は、村上和光経済学部教授が「日本の不況と世界経済」と題して講義した。

講義する村上教授
=金沢大学サテライト・プラザで



留学生，冬の鴨，白鳥等をバードウォッチング

1月25日，課外活動の一環として留学生等約20名が三浦香苗留学生センター教授らの引率により，鹿島郡田鶴浜町の野鳥公園内のビジターセンターにおいて，鴨等の冬の鳥をバードウォッチングした。

また，羽咋市邑知瀨に移動して白鳥等も観察し，能登の冬の自然を体験した。



バードウォッチングを楽しむ留学生たち
=鹿島郡田鶴浜町野鳥公園で

雪の里山ハイキング

1月26日は、角間の里山の定期保全活動日だった。かんじきを履いて雪化粧した里山をゆっくりハイキングした後、竹林を整備した。その伐採した竹を利用し、暖かい紅茶でティータイムを楽しんだ。



伐採した竹のポットとカップでティータイム。うまく温まり、紅茶が沸騰するほどであった。



かんじきを履いてのハイキング
=1月26日、角間の里山で

キャンパス点描

本学共用車に金大のロゴが入る



編 集 後 記

このたび、平成12年度着手の大学評価・学位授与機構の評価結果(教育サービス面における社会貢献)の通知があった。その中でサテライト・プラザの活動について、「地域社会へ向けた大学開放、積極的な情報発信の点で特色ある取組である」また、「広報資料を関係各所に持参して説明に向く(営業活動)など積極的な広報活動がなされている」など特に優れた点として評価された。

このサテライト・プラザは、公開シンポジウム「地域と金沢大学」での副学長の提言を実現したもので、寺井企画広報室長のもと7人8脚で全員一丸となって成果を挙げ、多くの関係者の協力もあり、市街の中心部に常設施設を確保できた。これは企画広報室のスタッフが、意欲、気力、知力(アイディア)、体力とボランティア精神を発揮し、取り組んだ結果と自負している。

(総務部企画広報室企画係長 上口 大介)

平成14年2月15日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5009
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。